

# 道軟連合会報

2020年度 後期号  
2020. 12. 25

第78号

発行所  
北海道軟式野球連盟  
札幌市豊平区豊平5条1丁目1番1号  
発行者 奥山英明  
編集者 総務部  
印刷所 社会福祉法人  
北海道リハビリ

## 令和二年度支部理事長連絡会議開催の中止

令和二年十一月十五日(日)に道立総合体育センターで開催する予定であった「支部理事長連絡会議」が依然と続く新型コロナウイルス感染症拡大のリスクを回避することから中止を決定しました。

なお、後日支部理事長会議の代替措置として「理事長・副理事長・部長会議」を実施し左記について協議され各支部長あて文書にて、本年度の決算見込みなどを報告した。

### ◆報告事項◆

- ・二〇二〇年度各全道大会及び全国大会戦績について
- ・二〇二〇年度予算執行状況(中間報告)について
- ・二〇二一年度北海道大会日程(案)及び全国大会日程について
- ・公認学童コーチの義務付けとBCC野球指導者講習会について

### ◆「二〇二一年度定時評議員会」の開催予定◆

日時：二〇二二年三月十三日(土) 午後2時(予定)  
場所：「ホテル札幌サンプラザ」

札幌市北区北二十四条西五丁目  
地下鉄南北線「北二十四条駅」駅下車 徒歩五分

※なお、毎年恒例の評議員会終了後の「懇親会」については、新型コロナウイルス感染症のリスクを回避するため中止します。

## 新しい各支部長・副支部長・事務局長・ 評議員・少年部長・技術員の紹介



苦小牧支部  
支部長  
最上 誠 司氏  
昭和十三年一月十一日生

平成十年 苦小牧支部理事長  
平成十二年 北海道軟式野球連盟理事  
平成二十年 苦小牧支部副支部長  
平成二十二年 北海道軟式野球連盟副会長  
平成二十六年 北海道軟式野球連盟顧問  
令和二年 苦小牧支部支部長



南空知支部  
支部長  
安藤 富 夫氏  
昭和二十年四月十一日生

平成二十一年 岩見沢市軟式野球連盟会長  
平成二十六年 南空知支部副支部長  
令和二年 北海道軟式野球連盟副会長  
北海道軟式野球連盟顧問  
南空知支部支部長



南空知支部  
技術員  
志賀 友 幸氏  
昭和五十一年十一月十四日生

平成二十四年 一級公認審判員  
平成二十八年 南空知支部審判副部長  
令和二年 南空知支部技術員



留萌支部  
支部長  
中村 正 幸氏  
昭和二十三年十一月十五日生

平成十二年 留萌軟式野球連盟常任理事  
平成二十二年 留萌軟式野球連盟理事長  
平成三十年 留萌軟式野球連盟会長  
令和二年 留萌支部支部長



旭川支部  
支部長  
長野 昭 彦氏  
昭和二十一年九月二十八日生

平成二十年 旭川支部理事長  
平成二十四年 北海道軟式野球連盟理事長  
平成二十八年 (公財)全日本軟式球連盟常務理事  
平成三十年 旭川支部会長代行  
令和二年 北海道軟式野球連盟副会長  
旭川支部支部長



旭川支部  
副支部長  
高木 弘 氏  
昭和二十二年一月二十七日生

平成十八年 旭川支部副理事長・評議員  
平成二十六年 北海道軟式野球連盟理事  
平成二十八年 北海道軟式野球連盟参与  
平成二十九年 旭川支部事務局長  
令和二年 旭川支部副支部長



旭川支部  
事務局長・評議員  
李 沢 幸 悦氏

昭和二十六年十月五日生

平成十六年 旭川支部理事  
平成二十年 旭川支部技術員  
平成二十一年 旭川支部審判部長・常任理事  
平成二十八年 旭川支部副理事長・総務部長  
令和二年 旭川支部事務局長・道軟連評議員



旭川支部  
常任理事・少年部長  
大 澤 秀 二氏

昭和二十七年八月七日生

平成八年 一級公認審判員  
平成三十年 旭川支部理事  
令和二年 旭川支部常任理事・少年部長



旭川支部  
技術員  
五十嵐 靖氏

昭和五十年十月九日生

平成二十八年 一級公認審判員  
平成三十年 旭川支部理事  
令和二年 旭川支部技術員

# 2020北海道大会熱戦譜

令和2年度の北海道軟式野球連盟主催の大会は、春先から始まった新型コロナウイルス感染症拡大の影響から楽しみにしていたほとんどの大会が中止となる寂しい1年となりました。そんな中感染防止対策を強化し開催支部の協力を得て9月から一部の大会を実施しました。その熱戦を振り返ることにします。開催を快く引き受けていただいた支部の皆さんには、コロナ禍の中大変お世話になりました。

## 天皇賜杯 第七十五回全日本軟式野球大会 南・北海道大会 ENEOSトーナメント 全国代表に「神出設計e coaハウス」千歳支部

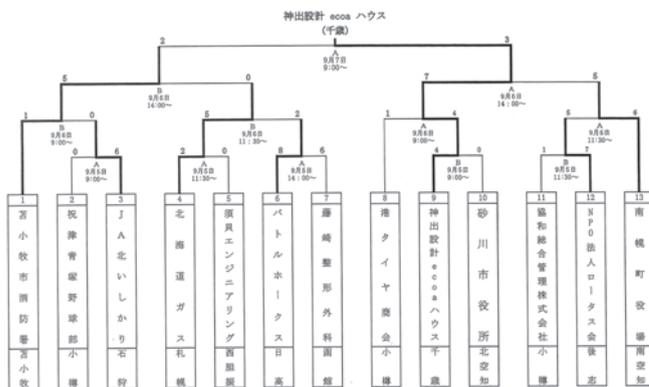
二〇二〇年新型コロナウイルス感染症の影響により道内各地各支部で不安や心配が有る中一ヶ月ほど遅れて開幕を迎えられる事になりました。

まずは、天皇賜杯全国大会が有るといふ事で、それに合わせて全国大会が九月五日～九月七日まで開催するとの事。各支部試合における出場関係者、選手、監督、審判は各自が朝に体温チェックと体調チェックを行い告知を認識し、試合開始終了時の握手は禁止、試合中に体調不良者が出た時は速やかに試合の中止も考え行われたシーズンが始まりました。

支部予選会、感染予防を徹底し順調に進み支部代表も決まり、支部役員全員で全道大会への準備も始めてまいりました。会議も感染予防を徹底して九月五日～九月七日全道大会を開催する事が出来ました。天皇賜杯南大会は天候にも恵まれ、試合内容も二打席ホームランが出る好ゲームも有り千歳支部代表の神出設計e coaハウスが代表になり、無事天皇賜杯南北海道大会を閉会する事が出来ました。

最後になりましたが、これも大会役員関係者、札幌支部、石狩支部、千歳支部の皆様ののおかげです。本当にありがとうございます。これからも皆様には、お身体に気をつけてコロナに対しても気をつけ益々のご活躍を願い、レポートを終わりにします。

(小樽支部 牛賜和美)



# 天皇賜杯 第七十五回全日本軟式野球大会 北・北海道大会 ENEOS トーナメント

## 十勝支部「六花亭」の連覇！

天皇賜杯第七十五回全日本軟式野球北・北海道大会は、本年二月から始まった「新型コロナウイルス感染症」の蔓延により大会自体の開催も危ぶまれる中、七月開催予定の日程を変更し、九月十二日から三日間、網走市のスポーツ・トレーニンングフィールド野球場と大空町の運動公園野球場の二会場で、北・北海道の支部代表十四チームが参加し開催されました。

コロナ禍の中で、練習も儘ならずチームづくりに苦慮したチームもあったかと思いますが、各チーム全国大会を目指し、熱戦が繰り広げられました。

感染症拡大防止対策のため、簡略化した監督会議、引続き代表者のみによる開会式を行い、両会場においては、網走市長・大空町長の始球式により大会を開始しました。

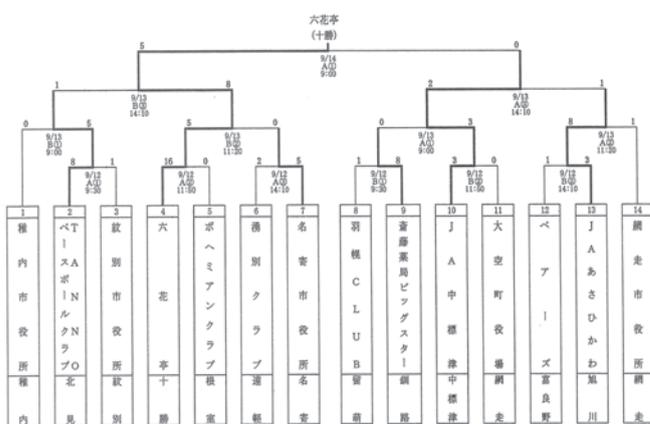
初日は、網走・女満別の両球場で、三試合ずつ行いましたがどの試合も緊迫した試合でありました。

二日目は、それぞれ準々決勝二試合、準決勝一試合を行い、決勝戦進出チームは「六花亭(十勝支部代表)」と「J A 中標津(中標津支部代表)」となり、決勝戦は昨年大会と同じ組

合せとなりました。

決勝戦は網走会場で行われ、序盤は〇対〇でお互い譲らぬ展開でしたが、「六花亭」は四回表三点を先制し、均衡を破るとその後も八回表、九回表と追加点を加え、「J A 中標津」を零封、結果五対〇で勝利し優勝しました。

六花亭は、初戦から決勝戦までで、一失点と盤石であり、北・北海道の覇者に相応しいチームでした。



「J S B B 感染予防対策ガイドライン」に添った中での大会開催であり、「健康チェック・検温・ベンチの消毒」など大会運営で「あたふた」することもありませんでしたが、これも貴重な経験と捉え今後の大会運営に繋げていきたいと思っています。

コロナ禍の中、今大会の開催にあたり御尽力いただいた関係者の皆様、大会期間中、御支援いただいた道連派遣の役員の皆様、交流審判員

## 東日本軟式野球大会(一部)

北海道スポーツ専門学校(札幌支部)が優勝

今年は新型コロナウイルスの感染拡大でほとんどの大会が中止となりました。

感染防止の体制を万全にした中で、東日本一部の大会が、九月十二日から十四日の日程で開催されました。

結果は、地元函館勢が決勝まで残り残りましたが準優勝に終わりました。力のあるチームです。来年に向けて頑張っていただきたいと思えます。天候はあいにく雨で、ゲームできるかどうか

の皆様、地元審判団・役員、運営に協力いただいた地元チームの皆様のおかげをもちまして「天皇賜杯第七十五回全日本軟式野球北・北海道大会」を無事終了することが出来ました。皆様本当にお疲れ様でした。

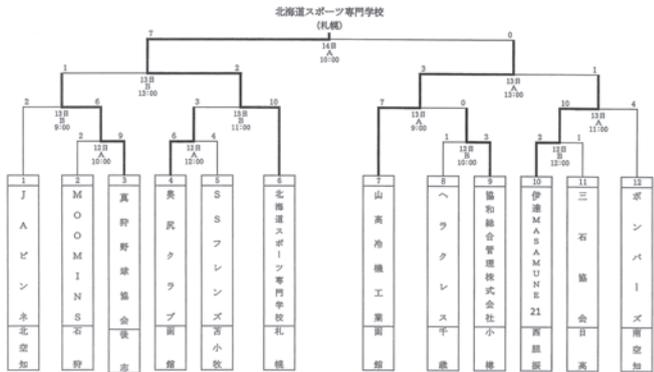
(網走支部・女満別連盟 砂金)

心配されましたが、スタッフの方々の熱心なグラウンド整備等のおかげで、大会を終えることができました。また、新型コロナウイルスの感染者がなかった事も大変良かったと思います。

(函館支部リポーター 田島 訓)

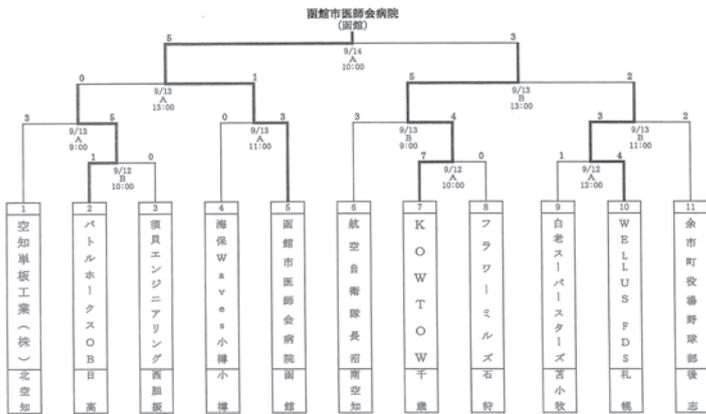


雨の中懸命にグラウンド整備をする  
函館支部役員の方々



大会期間中は気温が一気に下がり、降雨にも見舞われ、大会に参加されたチームはグラウンドコンディションが悪い中でのゲームとなり、力を出し切れずに敗れたチームも

あったことでしょう。決勝戦は一回戦から勝ち上がったきた千歳支部と、決勝戦まで一点も取られずに勝ち上がった函館支部との対戦となりました。一回の表、千歳支部は幸先よく一点を先取したものの、その裏、函館支部はチャンスを活かし一気に四点を取りゲーム



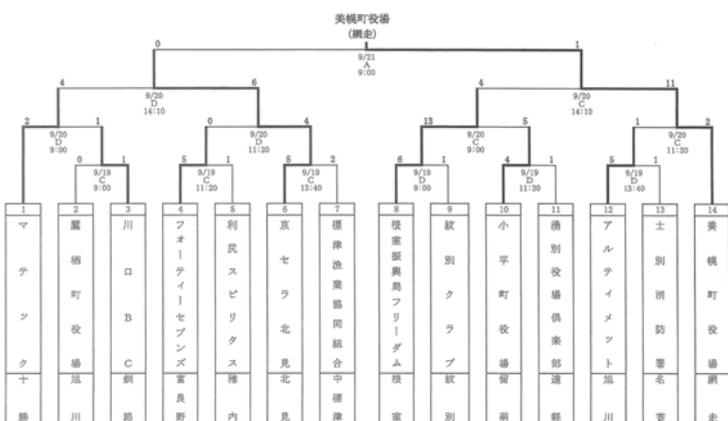
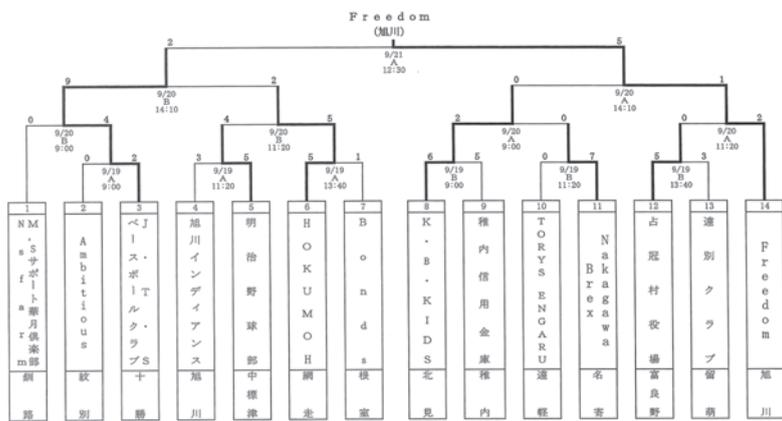
をひっくり返しました。四回には一点差まで詰め寄せられたものの、五回に一点を追加しそのまま逃げ切り優勝を遂げました。函館支部は、来年五月、富山県で開催予定の全国大会に出場することとなります。新型コロナウイルスは未だに収束の兆しが見えないものの、無事に大会が開催されることを心から願います。

コロナ禍という過酷な状況の中で、選手のみならず、観客、審判員、大会関係者は野球ができる喜びを改めて感じる事ができた大会となりました。(後志支部)



## 第四十三回 東日本軟式野球大会(二部) 南・北海道大会

優勝「函館市医師会病院」(函館支部)



## 第四十三回東日本軟式野球大会 一部・二部 北海道大会

一部優勝「Freedom」(旭川支部) 二部優勝「美幌町役場」(網走支部)

新型コロナウイルスの影響で、今年度の全道大会が中止になる中、第四十三回東日本軟式野球大会一部・二部北海道大会が、九月十九日から九月二十一日まで旭川支部管内の四球場にて、それぞれ十四チームが参加し開催されました。大会前日の雨で初

日のグラウンドコンディションが心配されましたが、大会スタッフのグラウンド整備のおかげで三日間予定通りに大会を行う事ができました。参加チームにおいては、コロナの関係で練習不足や試合数の減少等でコンディション調整が大変だったと思われるかもしれませんが、大会本番では、野球ができる喜びを噛み締め全力プレー

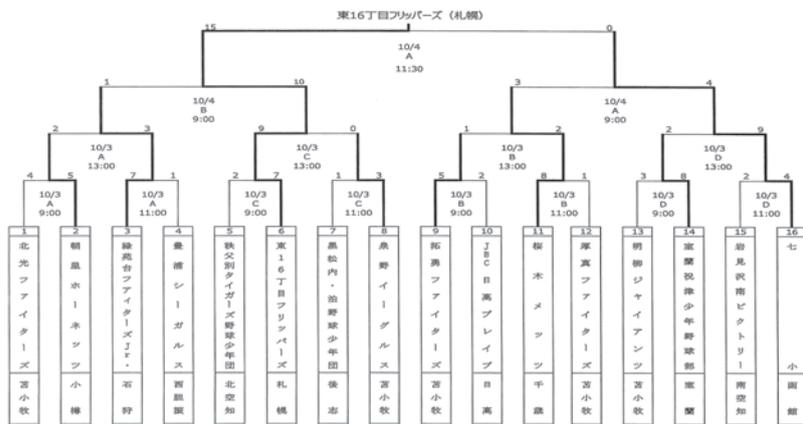
で大会を盛り上げていただきました。優勝は、一部はFreedom(旭川支部)・二部は美幌町役場(網走支部)で、来年行われる全国大会への出場が決まりました。両チームのご健闘をお祈りします。(レポーター 旭川支部 山口政人)

## 高円宮賜物杯 第四十回記念 全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント 南北海道大会 実力に勝る「東十六丁目フリッパーズ」の連覇!

世界中で大きな影響をもたらした新型コロナウイルス感染症は、日常生活の隅々まで影響を与えました。野球界も選抜甲子園大会の中止から、今シーズンが見通せない状況となりましたが、プロ野球が開幕した六月下旬から、アマチュア野球もや々と始動する事ができました。この様な状況下、本大会は当初函館支部が主管する予定でしたが、当支部が代替開催する運びとなり、準備期間が少ない中、これまでの経験を活かし、何とか子供たちに練習の成果を発揮できる場を提供する事ができました。大会運営は、感染予防を図るため、監督会議はじめ、省略できるものは省略して、短縮できるものは短縮し、マスク着用を義務付



け、密になる環境を極力作らないように配慮しながら進めました。試合は、各支部予選を勝ち抜いた代表十六チームの精鋭が集い、市内四球場で十月二・三日の日程で開催されました。全国大会が中止となり、選手のモチベーションを心配する声も聞かれましたが時折強い雨が降る中、開催した初戦から、各球場とも熱戦が繰り広げられる展開となり、決勝に駒を進めたのは大会二連覇を目指す「東十六丁目フリッパーズ」/「札幌」と接戦を勝ち抜いてきた「七小」/「函館」となり、結果は十五対〇と自力に勝る東十六丁目フリッパーズが見事二連覇を達成し、無事大会を終えることができました。大会を通じ、今シーズンから適用



された投手の球数制限が試合運びに多少なりとも影響した印象を受け、これからは、今まで以上に限られた選手たちを如何に育成し、チームとしての総合力を上げていくかが、勝ち抜く鍵となるのではないかと感じました。子供たちの将来を考えたルール改正であり、前向きに捉え、指導者たちのこれからの奮起に期待します。(苫小牧支部 吉田隆也)

## 高円宮賜杯 第四十回記念 全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント北海道大会

記念すべき第四十回大会が少年球児の憧れの球場、スタルヒン球場をメイン球場として四球場(スタルヒン球場、旭川ドリームスタジアム、東光第二球場、東川ゆめ球場)で、十月三日・四日の二日間に行われ、熱戦が繰り広げられました。

新年早々にコロナ禍、感染拡大防止の為に様々なイベントが中止となる中、地方予選の開催自体が危ぶまれましたが、それぞれの地区に於いて、万全の感染予防対策を講じ、予選会を開催する事が出来ました。

今年の大会はコロナ禍の中での開催となった為に、大会を盛り上げる開会式を実施する事が出来ませんでした。そんな中でも試合が出来る事の喜びと、地区代表としての誇りを胸に、グラウンドでのさわやかな一投一打は全ての人に感動を与えてくれました。

試合は日程の関係で初日の十月三日に二試合、十二試合が行われましたが、七十球の投球制限がかかる中、五試合が完投試合、四試合が相手打線を一失点に抑える展開と成り投手の頑張りが見事な大会となりました。安全で安心な大会実施の為に御尽

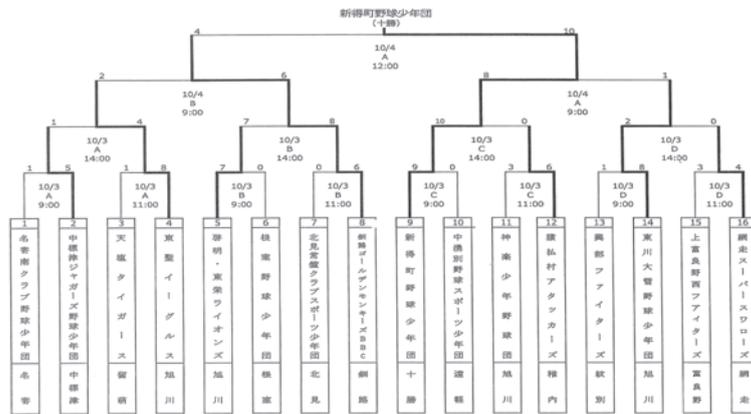
力を下さいました、道連並びに道北五支部の交流審判員の皆様には、大変御苦労様でした。

来年こそは、コロナ禍が終息し、通常の日常生活に戻り、例年通りの大会が開催される事を心から願っています。

(レポーター  
旭川支部  
大澤秀二)



優勝した「新得町野球少年団」チーム



## 第十二回全日本少年春季軟式野球北海道予選大会 第十七回北海道中学校選抜軟式野球選手権大会

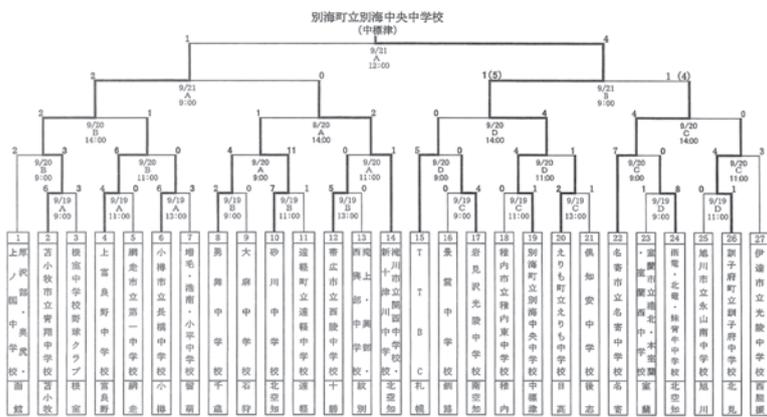
中学野球秋の集大成「全日本春季少年」。今回は言わずもがなのコロナ禍でしたが、他の道大会と比べ、遜色なく運営できたものと確信しています。

これもひとえに、道連各位の的確

な指導助言の下、道央南ブロックからの心温まる応援、出場する選手・指導者・保護者など、野球にかける熱い思いが重なり合ったからこそ、地元北空知支部一同心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

した。  
また、大会中の様々な慣習が簡略化される中、前回大会優勝の砂川中と同じく準優勝の遠軽中の試合に先立ち、ミニ開会式が実施されました。三月全国大会の中止、今大会の開会式中止など、落胆が重なる中で心の遣い。会場内の拍手も加わり、主管する地元砂川連盟の教育的配慮に中学生大会の意義を垣間見ました。  
さて、選手の熱戦の様子ですが、ピンネスタジアム（新十津川町）での準決勝は、女子エース擁する上富良野中を接戦の末に破った苦小牧青翔中と特別延長で砂川中にサヨナラ勝ちした地元滝川開西・新十津川合同チームの対戦。終盤まで無得点で進む中、青翔中が二対〇で念願の全国切符を勝ち取りました。  
また、砂川市営野球場での準決勝は、札幌支部の強豪T・TBCを撃破した別海中央中と一回戦から勢いに乗る訓子府中を完封した名寄中による初出場対決。試合は一对一の同点のまま特別延長に突入。その後も無得点で決着はつかず、大会史上初の全国出場権を懸けた抽選に…。

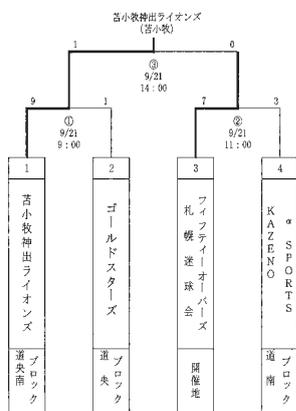
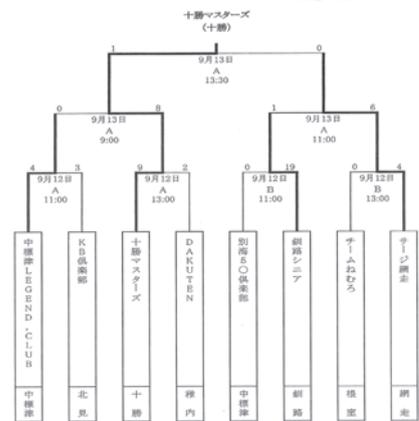
球史に残る一戦は、代表による抽選も五対四の大接戦でしたが、別海中央中の抽選勝ちとなりました。  
別海中央中は、決勝戦においてもその勢いを失うことなく、彼らの野球をやり切り見事優勝！ハッラツとした雰囲気をもって、お互いのミスをかバーし合う全員野球をモットーに、相手に隙を与えぬ徹底した攻撃力を発揮しての全道初制覇でした。  
翌春三月の全国大会では、たとえコロナ禍にあっても、冬を乗り越え、鍛え抜いた代表二チームが、静岡の地で北国旋風を巻き起こし、大活躍できることを祈るばかりです。  
(リポーター 渡辺 禎)



優勝した「別海町立別海中央中学校」チーム

第四回全日本シニア軟式野球北・北海道大会が九月十二日から十三日までの二日間にわたり、中標津町営球場・別海町営球場で八チームが熱戦を繰り広げました。  
コロナの影響で開会式は行われず静かに始まった今大会。選手の皆さんの年齢を感じさせない全力プレー・好プレーが目立ち、会場を熱く盛り上げておりました。  
決勝は去年の全道大会決勝で涙を

**第四回全日本シニア軟式野球北・北海道大会**  
優勝は「十勝マスターズ」(十勝支部)



**第四回全日本シニア軟式野球南・北海道大会**  
明年八月の全国大会(岡山県)南代表は「苦小牧神出ライオンズ」(苦小牧支部)

飲んだ「十勝マスターズ」と、こま  
で「失点の「サージ網走」が対戦し、  
七回が終わってお互い無得点という好  
ゲームとなり延長戦へ。八回表に十勝  
マスターズにホームランが飛び出し、こ  
れが決勝点、劇的な幕切れとなった。  
十勝マスターズは岡山県で開催され  
る第四回全日本シニア軟式野球大会  
に出場されます。ご健闘をお祈りし  
ます。

大会期間中、試合運営に関わった  
役員・審判団など多くの方々に協力を  
いただき心よりお礼を申し上げます。  
(中標津支部 橋本辰司)

二〇二〇年  
全道大会を終えて

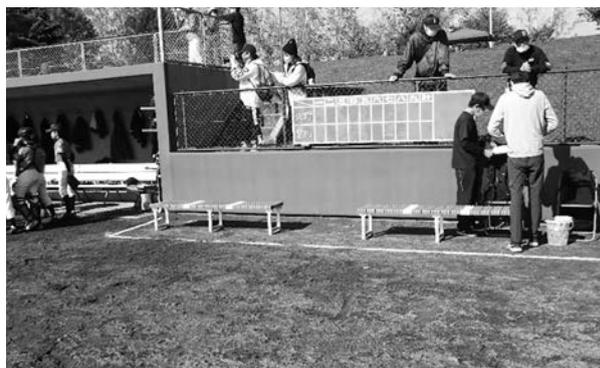
**新型コロナウイルス感染症  
防止対策**

今年開催した北海道大会で開催支  
部に大変お世話になった感染防止対  
策です。開催に際し大変お世話にな  
り無事終了しましたが、その一部を紹  
介します。本当にありがとうございました。  
来年も引き続き感染防止対策に協  
力をお願いします。  
(道連事務局)

健康チェックシート  
関係者分

健康チェックシート  
チーム分





ベンチの増設（三密対策）



試合開始前の円陣

試合開始の挨拶  
(両キャプテンと審判員のみ)



試合時のベンチ風景

試合時のベンチ風景（ベンチ増設部分）



試合時のベンチ風景（ベンチ増設部分）



試合時のベンチ風景



試合時のベンチ風景 (ベンチ増設部分)



試合終了の挨拶

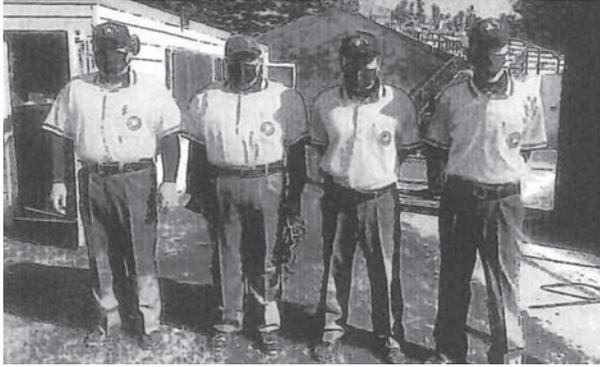


試合終了後のベンチ消毒



試合終了後のベンチ消毒





マスクの着用（グラウンド内の選手以外、審判員、運用スタッフ、観客）



球場選手出入口の消毒液設置



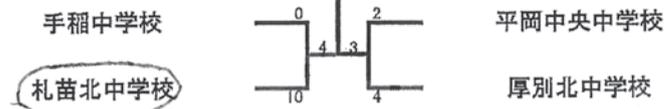
界面活性剤によるボールの消毒

北海道軟式野球連盟は五月二十五  
 中止することを決定した。  
 三十七回全日本少年軟式野球大会  
 マクドナルド・トーナメント」と「第  
 四十回記念全日本学童軟式野球大会  
 観点から大会を開催するにあたり更  
 に感染者を増やすことに繋がる恐  
 れがあると判断し、「高円宮賜杯第  
 新型コロナウイルス感染拡大防止の  
 全日本軟式野球連盟は四月三日に  
 札幌支部  
 「今年一年を振り返る」

支部トピックス



三密対策告示板



日に現在の新型コロナウイルスの感  
 染状況から、当連盟主催の大会を開  
 催する十分な環境確保が難しいと判  
 断し、「第三十七回全日本少年軟式野  
 球 北海道大会」「高円宮賜杯第四十  
 回記念全日本学童軟式野球大会南大  
 会」「第四十九回全道少年軟式野球大  
 会」を中止することを決定した。  
 札幌支部は五月二十五日によろや  
 く緊急事態宣言が解除されたが、依  
 然北海道内において注意しなくては  
 ならない状況の中、すでに野球シー  
 ズンに入っているにもかかわらず、  
 各大会が延期、中止となっており、



当連盟としても大変憂慮しており、健康にもつながるスポーツを実施していくことが野球チームにとっても元気の素になることを祈り、六月一日に当支部の今後の大会の開催予定を「緊急告知」した。

今年度の中止が決まった「高円宮賜杯第四十回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント」と「第三十七回全日本少年軟式野球大会」については、札幌支部が多くなる舞台をなくしたことの救済措置として独自に「特別大会」の開催を決定した。「特別大会」の開催に

際しては、「J S B B 感染予防対策ガイドライン」に従い、新型コロナウイルス感染対策を十分に検討し、大会開催となった。試合を観戦した選手の父兄からは「大会を開催していただき、ありがとうございます」「子供たちに思い出づくりができました」などの喜びと感謝の声が聞かれた。

学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント（特別大会）を制したのは「東十六丁目フリッパーズ」でした。また、全日本少年軟式野球大会の「特別大会」で優勝した「札幌市立札幌北中学校」は、札幌、石狩、小樽、千歳各支部の代表が出場した道央ブロック大会でも優勝を果たした。それぞれの大会結果は別途掲載の通り。

大会期間中、感染予防に協力いただいたチーム関係者及び運営役員・スタッフ・審判員の皆様に、大会が無事終了できたことを感謝申し上げます。

（札幌支部 リポーター 藤山真一）

### 旭川支部

## 『旭川ガールズ』が誕生

旭川支部の長年の夢でありました、学童女子チームの発足に向け、二〇一九年六月から五回の会議を行

い、二〇二〇年一月の準備会にて、チーム名を「旭川ガールズ」として発足することを決定、各少年団から旭川ガールズに女子選手を借りる関係で、二月に少年団の代表者会議と監督会議で、趣旨説明し承諾をいただきました。

父母への説明会は「新型コロナウイルス」の感染が拡大し、併せて、少年団の活動自粛や三密の関係で、父母への説明会も中止、結局、父母への説明会は六月二十一日に実施しました。その後、順調に入団選手が増え、二十二名（六年生七名、五年生六名、四年生七名、三年生二名）でスタートしました。

団長には、当支部副支部長の松尾幸夫氏、監督には当支部理事の上野盛久氏が就任しました。

七月十一日には選手、保護者、関係者含めて、七十名が出席、顔合わせ会が行われ、

正式に旭川ガールズの活動がスタート、設立資金は竹本理事長を中心に支部三役、理事で設立募金活動を行いました。

その後、各メディアで取り上げていただき、特に、読売新聞やNHK旭川放送局では、全道版で活躍を紹介していただき、選手は大きな励みと成りました。

松尾団長と上野監督は、六年生選手への想い出づくりのため、「旭川

ガールズ設立交流大会」を企画、竹本理事長を通じ十勝、北見両支部にご協力をいただき、九月二十一日に、当麻町宮球場で「旭川ガールズ設立交流大会」を開催いたしました。

試合結果は、旭川ガールズの二敗でしたが、先輩チームのオホーツク



ブルーエンジェルス、とかちスマイルレインボーの胸を借り、元氣一杯のプレーを見せてくれました。上野監督は「七月の初練習時には想像の出来ない素晴らしい試合が出来ました」と選手の成長を讃えていました。

第一試合 旭川ガールズ 八一十オホーツクブルーエンジェルス

第二試合 とかちスマイルレインボー 三一四オホーツクブルーエン

ジェルス

第三試合 とかちスマイルレイン  
ボーニー 旭川ガールズ

旭川ガールズの二〇二〇年度の戦いは十一月末日で終了しましたが、六年生の選手は、中学校でも女子チームで野球を続けたいと希望しており、中学生の旭川ガールズの設立も急務と思われま

(旭川支部 高木 弘)

石狩支部

## 「石狩支部審判講習会を 開催しました！」

八月二十九日(土)に当別町菅若葉球場にて当支部審判講習会を開催しました。三年目となる当支部の高田技術員と荒関審判部長を講師として、三十一名で行われました。

今回の講習会は九月に小樽支部主管で行われた天皇賜杯第七十五回全日本軟式野球南・北海道大会において、当支部が運営協力することとなり、技術力向上を目的として、実施したところです。

今年度は新型コロナウイルスの影響を受けて、ほとんどの大会が中止となったことから、この審判講習会の位置づけが非常に重要なものとなりました。今年も実技に重点を置き、内容もゴー・ストップボールや球審

のトラッキングなど基本的な動作の練習を行いました。

その後はインターフエアや審判間のサインの練習、投手のボーク、そして各塁審の動きなどについて練習しました。私も一塁の説明をしましたが、簡潔にまとめて説明することの難しさを感じました。これも経験だと思しますので引き続きがんばりたいと思います。  
最後にランダウンプレーやキャンプゲームで状況設定による練習を行いました。



この講習会を経験し、大きなミスもなく、天皇賜杯南北海道大会も無事終了しました。

今年度は新型コロナウイルスの影響で試合数が少ない年でしたが、来年は事態が終息をむかえ、いつものように春からシーズンのスタートを切ることを期待しています。

最後に、今回の講習会を開催するにあたり、講師をしていただきまし

た高田技術員、荒関部長、そして暑い中ご協力いただいた当別中学校、西当別中学校のみなさんに感謝申し上げます。ありがとうございます。

(石狩支部審判部 渡邊史章)

旭川支部

## 「二〇二〇年度道北ブロック 審判研修会開催」

十一月七日午後一時から二〇二〇年度 道北ブロック審判研修会がJA上川ビルにて旭川支部竹本理事長のご挨拶をいただきスタートいたしました。

コロナウイルスにより北海道大会も限られた開催となり少ない中でしたが、菅野英樹(公財)全日本軟式野球連盟審判技術指導員より、事例、報告等をしていただき、その後各支部の活動報告、事例発表を行いました。

その中で、今年度の学童大会での投球制限について、各支部の取組方法を聞いてどの様に運営していくのが良いのか、来年度に向けた良い検討事項になったと思います。

続いて野球用具についての勉強会が行われ、グローブ各所名称や色、バットについてはグリッパ加工の資料やエアーを入れて反発調整可能なものを実際に試してみることが

できました。

今後JSBB、SGマークだけでなく何について用具点検をしなければならぬか、知識向上・再認識することができたと思います。

休憩の後、規則理解度確認テストとして本年度の審判公認試験問題をしていただきました。熟練者ばかりで全問正解だったと思われ、楽しく?笑?回答説明が行われていました。

今回盛大に懇親会は行えませんでした。が、来年度に向けて良い研修会が開催できたのではないかと思います。

来年度はコロナウイルスに負けず盛大に大会、講習会など予定通りに開催できることを願っております。  
(レポーター 旭川支部 五十嵐 靖)



## 「スポーツ検診に 四百四十六名が参加」

全国的に肘検診は広がりつつあり、旭川支部では二〇一〇年から学童を対象としたスポーツ検診を実施しています。今年度もシーズンが終了した十月三十一日と十一月一日の二日間、八グループに分けて、スポーツドクター一名と理学療法士五名の協力のもと、超音波検査とフィジカルチェックを実施しました。

検診の最大の目的は、肘の離断性骨軟骨炎のスクリーニングです。離断性骨軟骨炎は静かに発症し、症状なく進行性に悪化する障害なので、痛みなどの症状が出現する前の初期のうちに発見して治療することが重要となり、検診が必要になります。

例年の検診は、希望者のみの受診で、昨年の参加者実績は十五チーム百三十三名と少数でした。できるだけ多くの児童に参加してもらうことを目的に、今年度からは投手・捕手の受診を義務化しました。その結果、あまり興味を示さなかったチームからの参加が増え、チームとして参加する団体が多く成り、三十八チームの選手四百四十六名と保護者、指導者が参加されました。

肘検診の結果では、四名に異常所見が見つかり二名に旭川市内の病院が紹介されました。また、フィジカ



(レポーター 旭川支部 斎藤 肇)

ルチェックでは理学療法士が柔軟性を中心に確認し、課題に見合ったストレッチの方法を個別に指導していました。終了後には、肘検診の必要性、柔軟の重要性について参加者に向けて検診スタッフからお話をいたしました。

障害予防においては、保護者・指導者に直接説明をして理解してもらうことが重要であり、児童には自身の身体の特徴を知り、ケアすることに興味を持ってもらえる機会になつたと思います。

旭川支部として、次年度は多くの指導者が参加し、身体の柔軟性が何故必要か？を再認識していただき、子ども達が野球を楽しめる環境づくりと整備を広め、このような予防活動の輪が広がっていくように努めていきたいと思っています。

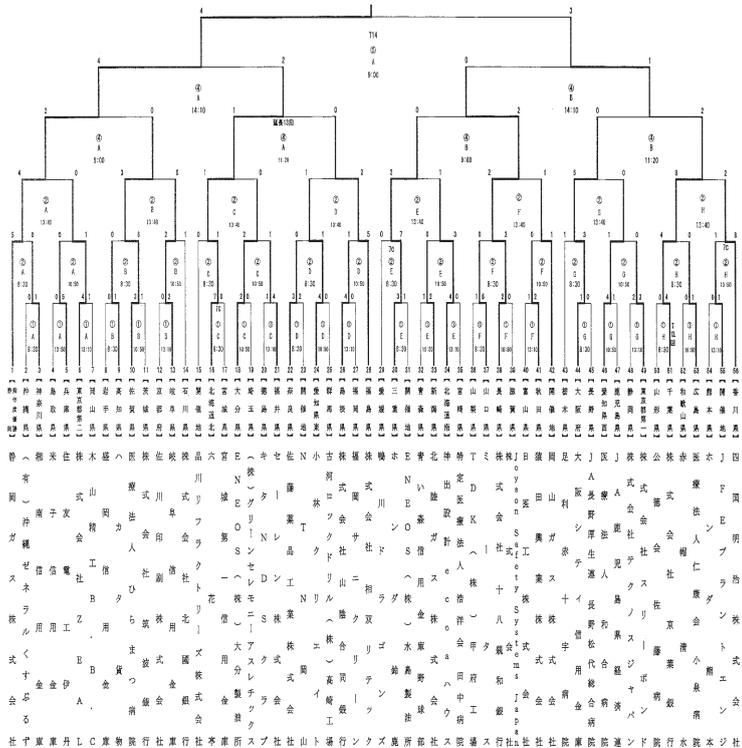
## 道連各部近況報告

### ●育成強化部

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から育成強化部全ての事業が中止となりました。その中で明るい話題は天皇賜杯第七十五回全日本軟式野球大会ENEOSTトーナメント

で南代表神出設計ecoahウスがベスト八、北代表六花亭が準決勝で昨年度優勝静岡ガス株式会社に惜敗しました。静岡ガス株式会社は道外合宿でいつもお世話になっているチームなので早速、静岡県連井口競技向上委員にお祝いの電話を入れました。ベスト四の六花亭、来年度の三重国体の活躍を期待しております。因みに静岡ガス株式会社は二年連続の優勝でした。

前年度優勝 静岡県 静岡ガス株式会社



## ●審判部

本年度は、コロナ禍のため予定されていた北海道大会や各会議及び研究会等が軒並み中止となりました。

ただし、天皇賜杯及び東日本北海道大会は実施するとの報告があり、講習会等ができない状況下で、審判部理事及び技術委員は今年度の改正点を各支部に伝達すべく模索しておりました。

幸いにも旭川支部の協力を得られ、六月十九日に伝達報告会が開催することができましたが、実技講習まで行うことができませんでしたので、各支部技術員の指導を信じて大会を迎えることとなりましたが、問題となるプレーはなかったものの審判員の動き等については技術委員より一部指摘があり講習会の重要性を再認識したところであります。

## ●審判技術委員会

六月二十日旭川市、JA上川で各支部技術員参加のもと技術員報告会が開催されました。

本来であれば各講習会が終了し北海道の野球シーズン開幕となるころが、コロナ感染妨害が発生しボールデッドの状態が長く続いていますが、何とか試合再開の目処がたち

ました。

二〇二〇年度野球規則改定は砂田研修員、競技者必携改訂は菅野研修員からの説明がありその後、質疑、報告事項を行いました。時間的制約から十分な説明とはならず、実技未実施のため一抹の不安は残りますが各支部、全道大会への準備は整ったものと思います。

技術員は久しぶりの再会と、野球ができる喜びを噛みしめながらも真剣に受講していました。

今年北海道開催予定の高松宮賜杯二部全国大会が、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。十勝支部関係者の皆様は大会成功にむけ準備に大変なご努力をされたことと思いますが、そのご苦勞が報われることがなくなり残念でなりません。恨むはコロナにつきまます。

今後油断はできませんがこの難関を全員で乗り切り、楽しく野球ができるようになることを願うばかりです。

## 編集後記

今、二〇二〇日本シリーズ第三戦を見ながらのひと時であります。日本最高峰の試合が一方的な展開のためワクワク感が沸いてきません。

さて、野球に限らず様々なスポーツは時代とともに変化しています。変化というより進化しているとも言えます。ルールや技術、用具、戦術、スタイルが日々変化・進化しているのです。

私も子供のころから野球をはじめ複数のスポーツを経験して五十年も経つと色々と実感します。

しかし、ついつい自分の感覚で「今の若い人たちは」と見てしまい、自分の凝り固まった考えを押しつけてしまいそうなのがあります。今リアルにプレーしている事が現実であり、自分がそれについていけないこともままあるのです。自分も

三十年前は若かったしベテランの人や年配者からそう思われていたのでしょうか。

ファッションも常に変化するように変化することは大切です。常に良い変化を求め今後も進化していくでしょう。

しかしそのような中でも不変的なものもあります。選手・チームは「上手になりたい」「勝ちたい」と思い、運営側は「公平平等」「安全に」と考え、各人がそれらの準備をして実践することで楽しく真剣に試合に臨みます。

私たちは不変的なものを大切にし、変化・進化への対応もしていかなければなりません。大量の情報が行き交い、何が本当なのかわからない現代において、不変と変化の両者を見極め、コロナ禍において皆で来年の道内野球界を支えていきたいものです。

(総務部 千葉)

2021年度 北海道大会・全国大会開催日程(案)

大会名	主管支部	開催地	会期	締切	抽選	全国大会				
						開催地	会期	締切	抽選	
天皇賜杯 第76回全日本軟式野球大会	南大会	苫小牧	苫小牧市 (2会場)	7/16(金) ～7/19(月)	7/6 (火)	7/7 (水)	東京都 八王子市、昭島市、町田市、府中市、大田区、世田谷区、稲城市	9/14 (火)	9/16 (木)	
	北大会	中標津	中標津町 別海町 (2会場)	7/17(土) ～7/19(月)	7/6 (火)	7/7 (水)				
高松宮賜杯 第65回全日本軟式野球大会(1・2部)	南大会	西胆振	伊達市 室蘭市 登別市 (4会場)	7/9(金) ～7/12(月)	6/29 (火)	6/30 (水)	1部 岡山県 倉敷市、総社市	9/3(金) ～9/6(月)	8/3 (火)	未定
	北大会	釧路	釧路市 厚岸町 (4会場)	6/25(金) ～6/28(月)	6/15 (火)	6/16 (水)	2部 熊本県 熊本市、八代市、山鹿市、 荒尾市	10/22(金) ～10/25(月)	9/17 (金)	9/24 (金)
第76回国民体育大会 軟式野球競技北海道大会		石狩	石狩市 江別市 当別町 (4会場)	7/30(金) ～8/2(月)	7/20 (火)	7/21 (水)	三重県 四日市市、亀山市、伊賀市、 鈴鹿市、名張市	監督会議 9/25(土) 競技9/26(日) ～9/29(水)	9/2 (木)	9/3 (金)
日本スポーツマスターズ2021 軟式野球競技北海道大会	南大会	日高	新ひだか町 浦河町 (2会場)	8/6(金) ～8/9(月)	7/27 (火)	7/28 (水)	岡山県 倉敷市、総社市	9/18(土) ～9/20(月)	未定	未定
	北大会	遠軽	遠軽町 湧別町 (2会場)	7/23(金) ～7/26(月)	7/13 (火)	7/14 (水)				
第44回東日本軟式野球 北海道大会(1・2部)	南大会	室蘭	室蘭市 登別市・伊達市 (4会場)	9/3(金) ～9/6(月)	8/24 (火)	8/25 (水)	2022年度1部(44回大会)	未定	未定	
	北大会	稚内	稚内市 幌延町 (4会場)	9/10(金) ～9/13(月)	8/31 (火)	9/1 (水)	2022年度2部(44回大会)	未定	未定	
北海道知事杯 第21回北海道軟式野球選抜 選手権大会		旭川	旭川市 (2会場)	8/21(土) ～8/23(月)	8/10 (火)	8/12 (木)	栃木県 宇都宮市他 第29回東日本選手権大会	10/29(金) ～11/2(火)	9/25 (金)	10/1 (金)
高円宮賜杯 第41回全日本学童 軟式野球大会	南大会	函館	函館市・北斗市 (3会場)	7/3(土) ～7/5(月)	6/22 (火)	6/23 (水)	新潟県 新潟市中央区、西区、秋葉区、 三条市、新発田市	8/16(月) ～8/22(日)	7/27 (火)	7/29 (木)
	北大会	旭川	旭川市・東川町 (3会場)	7/3(土) ～7/5(月)	6/22 (火)	6/23 (水)				
第50回全道少年軟式野球大会		札幌	札幌市 (1会場)	7/30(金) ～8/4(木)	7/20 (火)	7/21 (水)	阿波踊りカップ全国学童大会 2021 徳島県 徳島市他 7/29(木)～8/02(月)	7/2 (金)	7/7 (水)	
第38回全日本少年軟式野球 北海道大会		千歳	千歳市 恵庭市 北広島市 (4会場)	7/16(金) ～7/19(月)	7/6 (火)	7/7 (水)	神奈川県 8/16(月) ～8/19(木) 監督会議 8/15	未定	未定	
							水戸市長旗第10回東日本 少年大会 茨城県水戸市他 8/13(金)～8/16(月)			
第13回全日本少年春季軟式野球北海道 予選会・第18回北海道中学校軟式野 球選抜選手権大会		北空知	滝川市、砂川市 深川市 新十津川町 (4会場)	9/17(金) ～9/20(月)	9/7 (火)	9/8 (水)	2022年度(第13回大会)	未定 / /	未定 / /	
NPBガールズトーナメント2021		十勝	帯広市 (1会場)	6/19(土) ～20(日)	6/8 (火)	6/9 (水)	愛媛県 松山市他	7/30(金) ～8/5(木)	6/18 (金)	6/24 (木)
第6回全日本中学女子軟式野球大会 北海道予選会		十勝	帯広市 (2会場)	6/19(土) ～20(日)	6/8 (火)	6/9 (水)	京都府	8/19(木) ～8/25(水)	7/16 (金)	7/19 (月)
第5回全日本シニア 軟式野球大会	南大会	札幌	江別市 (1会場)	9/11(土) ～12(日)	8/31 (火)	9/1 (水)	岡山県 (第4回) 倉敷市、総社市	6/5(土) ～6/7(月)	5/5 (水)	5/7 (金)
	北大会	網走	網走市 (2会場)	8/21(土) ～22(日)	8/10 (火)	8/11 (水)				
第43回東日本全国大会 <1部> 5/28(金)～5/31(月) 締切(4/16) 抽選(4/26) 〔出場チーム〕 北海道スポーツ専門学校(札幌) Freedom(旭川)							山梨県 甲府市、南アルプス市他			
第43回東日本全国大会 <2部> 5/21(金)～5/24(月) 締切4/19(月) 抽選4/22(木) 〔出場チーム〕 函館市医師会病院(函館) 美幌町役場(網走)							富山県 富山市、魚津市他			
文部科学大臣杯第12回全日本少年春季軟式野球大会 3/24(水)～3/28(日) 締切1/15(金) 抽選1/26(火) 〔出場チーム〕 別海町立別海中央中学校(中標津) 苫小牧市立青翔中学校(苫小牧)							静岡県 静岡市、焼津市他			
スタルヒン杯(スポーツ少年団交流大会) 7/27(火)～7/29(木) 旭川市										